

薄板事業再編による国内生産体制の強靱化について

JFEスチール株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:広瀬政之、以下:当社)は、国内鉄鋼需要の構造的な変化を踏まえ、将来にわたり安定的かつ競争力のある事業基盤を構築するため、薄板事業の再編を決定しました。

本取り組みは、JFEグループの長期ビジョンであるJFEビジョン2035および第8次中期経営計画に掲げる「国内生産体制の再構築」の一環として実施するものです。

1. 薄板事業の再編(概要)

2026年度末を目途に、東日本製鉄所(京浜地区)の酸洗ラインを休止し、酸洗材製造は東日本製鉄所(千葉地区)ならびに西日本製鉄所(倉敷地区)・(福山地区)へ集約する予定です。また、2028年度上期末を目途に、同地区の溶融亜鉛めっきライン(第4CGL)をはじめとする薄板関連設備を休止し、溶融亜鉛めっき鋼板製造は西日本製鉄所(福山地区)へ、冷延特殊鋼製造は東日本製鉄所(千葉地区)へ集約する予定です。

これにより、品種ごとならびに国内全体での生産体制強靱化を図り、生産効率・コスト競争力をより一層向上させていきます。また、京浜地区は、厚板および鋼管を中心とする東日本の製造拠点とし、他地区から供給される高品質な半製品を活用して、建材分野およびエネルギー・インフラ分野向け製品を安定的に供給します。

<休止設備(詳細別紙)>

酸洗ライン、溶融亜鉛めっきライン(第4CGL)、その他薄板製造設備

2. 事業再編に伴う効果

設備休止に伴う固定費の削減等により、年間約100億円の収益改善効果を見込んでいます。また、成長分野・高付加価値品へ経営資源を集中させることで、中長期的な収益力向上に寄与します。

3. ステークホルダーへの対応

事業再編にあたり、お客様、取引先、従業員、地域・行政、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に対し、丁寧な説明を行い、誠実に対応いたします。

従業員については、地区内での配置転換等を行い、引き続き従業員や会社の成長につながる配置・育成を進めていきます。また、影響が想定されるグループ会社・協力会社についても誠実に対応いたします。

4. 今後に向けて

当社は、国内鉄鋼需要の構造的変化を的確に捉え、高付加価値品へのシフト、成長分野への対応力強化、スリムで強靱な国内生産体制の構築等を通じて、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

以上

(別紙)

1. 休止する主な設備

地区	休止設備	スペック等	稼働時期	休止時期
京浜	酸洗ライン	厚 1.2～6.0mm 幅 600～1630mm	1979年04月	2027年03月末
	溶融亜鉛めっきライン (第4CGL)	厚 0.27～3.2mm 幅 610～1300mm	1992年05月	2028年09月末
	その他薄板製造設備を含む			

2. 休止する設備に関わる従業員数(規模)

所属会社	人数規模	備考
JFEスチール	約250名	製造、保全、管理部門を含む
グループ会社、協力会社	約300名	

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

JFE スチール(株) 総務部広報室 TEL03(3597)3166

ねがう未来に、鉄で応える。